

高野新聞

Vol.77



たかの
高野 たけし
無所属 42歳

逗子市議会議員（4期）

- ・議会運営委員会委員長
- ・議会活性化推進協議会会長
- ・総務常任委員会委員
- ・基地対策特別委員会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

◆基金の設置を提案

市内には4ヶ所の市営有料駐輪場が設置されていますが、平成22年に整備されたJR逗子駅東駐輪場を除く3ヶ所はいずれも平成4年、もしくは平成5年に開設しているため、建物だけでなく駐輪ラックなどの老朽化も進んでいます。

しかしながら、修繕費用は年間350万円の枠しかとっておらず、十分な維持管理が行えているとは言い難い現状にあります。すでに利用できない駐輪ラックも存在しているため、しっかりと維持管理を行えば駐輪可能台数も増え、利用者の使い勝手が向上するだけでなく使用料の増収も見込めます。

そこで、駐輪場維持管理のための基金を設置し、大幅に黒字を出している有料駐輪場の収益(表1参照)の一部を維持管理に充てる仕組みを構築すべき旨、提案しました。

これに対し担当所管からは、基金の設置に関しては今後の検討課題としたいとの回答がありました。

【平成25年度における自転車対策費】

歳入：123,238,012円	
駐輪、駐車場使用料	121,186,020円
目的外使用料	1,280,992円
放置自転車等移動費用収入	771,000円
歳出：88,980,450円	
需用費(光熱水費など)	9,400,505円
役務費(保険料など)	568,892円
委託料(運営費など)	66,196,547円
使用料及び賃貸料(借地など)	12,718,536円
その他(工事費など)	95,970円

(表1)

↓
収支結果：34,257,562円

政治資金の残り あと 37,439円

(9/1～11/30の内訳)

支出…ポスター掲示用両面テープ 2,529円

◆新たな対策が必須!!

近隣に商店が集中しているJR逗子駅前ですが、特に買い物客の多い時間帯においては多くの違法駐輪がなされている現状にあります。そのため、市が業務委託をして違法駐輪の撤去作業を行っていますが、撤去台数の推移(表2参照)を見ると大幅な減少には至っていません。この撤去作業の業務委託には毎年1,000万円を超える予算が充てられていますが、これは有料駐輪場の収益から捻出されているものです。そのため、今後有料駐輪場の維持管理費用を充実させていくためにも、放置自転車を減らす新たな手立てを講じる必要があります。

そこで、駅周辺への一時貸し駐輪施設の設置を提案したところ、市長からは設置に向けて協議していくとの回答をいただきました。

【放置自転車移動台数と業務委託料】

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
移動台数(台)	1,176	1,907	1,082	1,176	1,033
委託料(千円)	12,705	11,463	11,145	11,190	10,077

(表2)

◆老朽化対策は計画的に

有料駐輪場の建築後の年数を考えると、今後は大規模修繕も必要になってくるのが想定されます。

平成4年築の清水橋南駐輪場

そこで、修繕計画を策定し、計画的に改修に努めるよう行政当局に提案したところ、市長からはこれから着手する公共施設の長寿命化計画の中に有料駐輪場の修繕計画も加え、適正に管理していくとの回答がありました。



視察報告 ～空き家対策～

私も所属する総務常任委員会にて空き家対策の先進事例を調査するため、平成17年1月に旧福間町と旧津屋崎町が合併し誕生した福津市(9月30日現在の総人口:58,850人、世帯数:24,125世帯)へ行ってきました。福津市という名称には、幸福や多くの人が集まる津(港、場所)という意味が込められているそうです。

福津市の条例では、売却や賃貸を希望する物件情報を登録してもらい(不動産会社の情報に載っていない物件に限る)、空き家の購入や賃貸を希望している人達に紹介するところまでが市の役割で、実際の売買、賃貸契約は市内の不動産業者協力会(23社が加盟)が行うというつくりになっているそうです。条例が制定されたのは今年の4月になりますが、実際の運用開始は7月からであったため、現在までの登録物件は2件(内1件は契約成立)にとどまっているとのこと。しかしながら、空き家バンクを活用して住宅を購入、賃貸したいという問い合わせはすでに10件程度きているとのこと、今後は空き家バンク制度を周知していくことに力を入れていきたいとお話でした。

また、かつて廻船で栄えた「津屋崎千軒」の集落の一角に地域交流センター的なNPO「津屋崎ランチ」を立ち上げ活動されている山口さんからも、古民家再生の取り組みについてお話を伺うことができました。いずれも既存の概念にとらわれない発想で古民家を再生、活用しており、今後の政策立案に向け非常に参考になりました。



- ①、②日替わりオーナーカフェ。気軽にお店を出してみたいという方々が集まり、毎日店主も屋号も変わるお店に。家賃は週に一度の出店で、月1万円。
- ③利権分割方式による再生古民家。30年間空き家だった家を6年間の定期借家で借り、出資者(50万円×12名)を募りリノベーション。出資者には180日の宿泊権利(年間30泊×6年間)が譲渡され、家主には金銭的負担がなく6年後に改修された家に戻るという仕組み。
- ④市に寄贈された古民家を改修し貸し出しているお店。

どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

Q1:柔軟な助成制度への変更を提案

肺炎球菌ワクチンの助成制度ですが、逗子市では65歳になると5年おきに助成を受けることができます。しかし、65歳、70歳、75歳…と65歳を基準に5年毎しか対象とならないため、仮に66歳や67歳で受けた場合すべて自費になるだけでなくワクチンの効果が切れる5年後も自費での接種となってしまいます。そのため、対象年齢外でも助成を受けられるようにしてほしいとの要望が届きました。

そこで、葉山町などが行っているように年齢を固定化せず柔軟に助成制度を受けられるように改善すべき旨、(葉山町の場合は75歳以上の方は5年間有効のクーポンをもらい自分の好きなタイミングで接種できる助成制度となっている)担当所管に提案いたしました。

Q2:伸びた枝葉が電線に…

沼間3丁目地域にお住まいの方から、「元木沢ポケットパーク」横にある樹木の枝葉が伸びた状態で電線に覆いかぶさっているため、台風がきた際など風に煽られて電線を切ってしまうことがないか心配であるとの相談がありました。

早速現地に行き確認したところ、かなり太い枝も電線に覆いかぶさっている状態でしたので、担当所管に対して早急な対応を求めたところです。

その結果、電線に触れてない箇所は市の方で伐採を行い、電線にかかっている箇所は電線を傷つけてしまう恐れもあるため、管理者であるNTT東日本が対応してくれました。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。

送付先

Tel / Fax:046-871-7368 E-mail:takano_zushi@yahoo.co.jp